



# 金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年 8月 7日  
福島市立金谷川小学校  
児童数 81名  
校長 宋戸 与一

## ☆ ☆ 夏休み ☆ ☆

### 「家庭」と「地域」が大切な勉強の場です。

学校のあった日には、先生に指導されたり友達の行動を見たりして、自分で考えないとしても、安全に時間を守って生活することができます。

しかし、夏休みは生活の中心が家庭と地域になります。注意してくれる先生も友達もいません。子ども一人一人が自分で考え、きまりや時間を守って生活しなければなりません。子どもたちの自律性が試されます。

普段は、朝のボランティア活動、一斉清掃と、金谷川小の子どもたちは本当によく働きます。校庭や体育館に帽子などが落ちてると拾って持ち主に渡してくれます。

夏休み中も、「自分の弱い心やなまけ心に負けずに、自分で自分に注意できる」ように心を育てていきたいものです。自律性を育てる絶好の機会です。事故に遭わないよう、自分も他の人もけがをしないで遊べるよう、家庭と地域のみんなで、子どもたちに「あっ、そうだった」と気づきを促すようお願いします。

### 「好きなものに夢中になる」経験が「積極性と自主性」を育みます。

本校の子どもたちは、謙虚で遠慮がちな子が多いのですが、自分に自信のもてない子も少なからずいるように感じます。



子どもが好きなものに夢中になる経験はとても大切です。その経験が心の根っこを太らせ、ぶれない自分の基をつくり、自分への信頼をもたらすことでしょう。

今年度は、例年よりは短い夏休みですが、ゲームではない「好きなもの」を見つけ、「夢中になる」経験をさせたいですね。



### 地域の力



通学路、とてもきれいにいただきました。

ありがとうございました。

#### 子どもたちとの会話から

- 「もうすぐ夏休みだね」 「いやだなあ、夏休み」
- 「どうして？」 「学校の方が楽しいもん」(低学年女子)
- 「夏休み、何するの？」 「思いっきり、ゲーム！」(高学年男子)

うれしさと悲しさと・・・

### お知らせ

今年度は、8月11日(火)～14日(金)まで、学校閉庁となります。この期間、学校には職員が勤務しません。

緊急を要する事案が起こった場合は、学級担任まで連絡願います。

子どもたちが横断歩道を渡った後、停止してくれた車に、深々とお辞儀をするお母さん。子どもたちの姿が見えなくなるまで、ずっと子どもたちのうしろ姿を見守っているおじいさま。ステキな光景にいつも癒やされます。